

## 令和5年度「教育課程等に関する企業様とのWeb意見交換会」報告書

開催日時：令和5年8月29日（火） Web意見交換会（13：00～14：30）

テーマ：「産業界が短大へ求める資質や知識並びに本学の教育等への取組みについて」の意見交換

会場：Web会議 本学参加者 B棟5階MM教室

出席企業：8社10名

本学出席：教職員8名

### 1. 実施の目的

本学は「For all the students ～すべての学生生徒のために」を経営理念とし、「丁寧な教育」を戦略の一つとして掲げ、教職員協働体制で学生指導にあたることを、中期経営計画で定めている。

18歳人口の減少により全国の大学・短大は学生確保に苦慮しているのが状況である。本学に於いても、志願者および入学者の確保を安定的に継続することは容易ではないと認識している。

そのため、本学は「情報の短大」として、日進月歩する情報技術に対応し、ITを利活用できる優秀な社会人を輩出できるよう、令和2年度からPBL（問題発見・解決型学習）を組み入れた大規模な組織並びに教育課程の改編を実施した。今回は、本学の教育の質をより一層向上させるために、企業様から学生に求める資質や知識、並びに本学の教育内容等について率直なご意見をいただき、企業の方々の客観的な視点を取り入れた点検・評価を行い、社会的要請に対応できる教育課程へと改善していく狙いである。

### 2. Web意見交換会

進行及び趣旨説明（学科長）

(1) 学長挨拶

(2) 学科説明（教務部長）

(3) 就職の取組み（就職委員長）

(4) 企業様との意見交換

①教育課程に関する内容に対する企業様からの意見・・・教務部長

②就職支援に関する企業様からの要望・・・就職委員長

(5) 総評（学長）

#### ①教育課程に関する企業様からの意見

（本学のカリキュラム内容及び要望についての意見等）

##### 《意見1》

弊社は小売業であり、短大で学んだことを社会に出てどう活かすか、自分の武器として活躍していくことが重要である。短大は2年間と短い期間であるため、考える場、今勉強している事に焦点を置き、それを将来どうしたいのか長期的なキャリア形成を考えていくことが役立つ武器となる。

##### 《意見2》

貴学から1名採用しており、プログラミングスキルやビジネスマナーにおける基礎力が備わっ

ており、行動も実直であり周りのモデルとなっている。基礎力を活かして自分自身は頑張れるがチームや周りの人に働きかけることに課題があるので、その点を積極的に取り組むことにより更なる成長へ繋がると思うのでPBL科目等で実践していただきたい。

### 《意見3》

弊社はシステムエンジニアリングの職種であり、貴学からの入社した学生はコミュニケーションをしっかりと取り素直で真面目である。業務において開発となるとチーム力や連携力が重要となる。また、技術力も必要だが不明な点においては情報を自ら掴み取る力も重要となる。自ら楽しんでやること、知ることの楽しさなど学びから見出せるように好奇心を持てるカリキュラムを実施してほしい。

### 《意見4》

貴学の学生は素直で挨拶や受け答えがしっかりしている。カリキュラムについてはチームワークができる環境を豊富に取り入れてほしい。弊社はITエンジニアリングとモノづくりのエンジニアリングの採用であり、両者ともチームで業務を行うので自分の立ち位置を把握して立ち回りを行う事が重要となるので学生時代にそういう経験ができるようなカリキュラムを実施してほしい。

### 《意見5》

貴学の学生は真面目で業務にもしっかりと取り組んでいる。昨今の学生は正解や答えを求める傾向が入社しても見受けられる。失敗を多く経験してほしいが、社会において失敗が出来ないと考えていて、学生時代から慣れていなくて失敗を恐れ一歩踏み出せない傾向がある。

PBL科目等で実践的なカリキュラムにおいて多くの経験を含め失敗を重ねていくことによって、社会に出ても早めに馴染めていけると思う。

### 《意見6》

弊社は「人の役に立つ」を基本とし、人の役に立つとはまず自分自身の教養を高める事、弊社の商品は車でなく人物と考えている。若い時から教養を高め地域に必要とされる人材となることが地域貢献となる。よって、キャリアを通してどういう風に自分の人生形成を考える時間を設けていく事が地域から必要とされる人材育成に繋がると考えている。

### 《意見7》

貴学からのOBには満足している。全てのOBの共通点としては、素直に吸収し成長できている。但し、欲を言えば自らのキャリアオーナーシップとしてキャリア形成していくことが出来ればよいと思う。

### 《意見8》

課題解決を通して弊社としては、論理的に考えて自発的に行動する人物像を考えている。そのためには、自分で考えて発展や改善を行うためのPDCAサイクルを活用することで、その事柄を他者へ発信し理解を得て自分にフィードバックし、更に良いスパイラルに繋げる事を望んでいる。

貴学で基礎的な土壌を身に付けていただき、弊社で更に発展させることができるようなカリキュラムとしてほしい。

## ②就職支援に関する企業様からの要望等の意見

(人材を供給する立場として企業に対して役に立てること)

### 《意見 1》

弊社は小売業であるため中心は店舗であるが、その中でもDX本部を設置し情報システム部と未来創造推進部があり、様々なシステム関連の業務がある。社内の一番の課題は、新入社員をプロパーとして人材を育成していくことの難易度の高さ。弊社のノウハウは販売が中心ですが、情報系のベースがある人材に対して活躍できる場に配属していく事が課題ではある。必ず配属できるとは限らないが選択肢として活躍できるフィールドは広がっている。

### 《意見 2》

弊社はシステムエンジニア職を募集しているが、一概にシステムエンジニアだからといった業務は決まっていない。弊社は、医療施設を訪問してシステムを導入し、システムと電子カルテを繋ぐなどの業務を行っている。その中で一部の社員が今までの経験則を基に意思決定を行うことが課題ではあるが、データを基に事実を突き詰めていく事やデータを基に新しい提案できるような部分に活用できる人材育成に繋げたい。

### 《意見 3》

弊社はデータサイエンス分野であり、データを活用して何か新しいことを提案しており、貴学の学生はそういう部分では活かせるのではないかと思う。弊社は、自治体のシステムなど地域の課題を解決するなどの取り組みを自治体の人と協力しながらシステム開発を行っている。データを活用しながら色々な知識を活かして活性化できると思う。本質はやはり現場であり状況を把握しデータサイエンス知識を活かしていけば活躍できると思う。

### 《意見 4》

弊社はITエンジニア職で採用活動しているが、学生はITエンジニアをシステム開発と勘違いしている人が多い。弊社はインフラ部分のネットワークエンジニアやサーバーエンジニアリングの業務もあり、その魅力を知っているとITエンジニアの中でもネットワークやサーバーにいきたいとか、将来性とか進路も広がると思う。弊社も他社との連携でDX化が推進推奨へ動いていて、DX化を実現するには業務分析が必要となるため、その部分で活躍できる。一般職や営業職においてもデータを分析することは必要となるためいろんな職種で活躍できると思う。

### 《意見 5》

弊社としては、短大の在学期間中に学業を含め多くの事を体験することで、より多くの可能性を広げていくことが重要と考える。社会に出て一つの事をやるわけではないので、応用力を発揮し多くのことが出来るような学生生活を過ごしてほしい。

### 《意見 6》

車の販売を通して職場の環境をしっかりと把握する事で課題が見えてくる。学んだスキルによってどの様に解決していくことができるかという場面では実際に手を動かしてできる事がたくさんあ

る。ずっと営業スタッフだけでなくお客様視点や現場視点の課題解決の能力を身に付けたうえで、弊社の本部業務において他社との連携を図り専門的な知識を持ってより良い提案をしてもらいたい。

#### 《意見7》

弊社が情報系に求めていることは、ハードとソフトウェアの両方理解できている人、特に工業高校出身の人でシステムインテグレーターとしてのカメラの設定でプログラミングスキルやロボットに指令を出すハードとソフトの融合ができる人を望む。また、工業的にはハードや組み込み等を学んでいただきたい。

#### 《意見8》

弊社は積極的に新しい技術などを取り組む企業であり、貴学が取り組んでいるデータサイエンスに魅力を感じている、AIやクラウドを取り巻く膨大なデータサイエンスは外せない。基本的なノウハウは貴学で教える事はできるが、その技術をどう活かすのかその本質を見抜くのかを更に教えていただけるようなカリキュラムを組んでいただきたい。

### 総評(学長)

本日は企業の皆様には活発な意見をいただき有難うございます。  
特にチーム力としてチームの中で自分の役割を認識してその役割を発揮することで、チーム力を育ててほしいという発言に感銘した。改めて本学のPBL科目に於いて検討していきたい。

また、個人的には失敗を経験させてほしいという発言があったが、私自身教員時代に研究室に来た学生に対して「これからの人生において失敗しないことはあり得ない」という事を幾度も伝え、その価値としてはどう乗り越えるかという事を何度も伝えた。

今後は、皆様からいただいた様々な意見を整理して、本学の教育カリキュラムに活かしていきたいと考えている。

以上